

## ショパニストコンチェルト A 部門

みなさんお疲れ様でした！全体的に、みなさん素晴らしい技術をお持ちだと思いました。

技術の賢い使い方： 技巧的な部分を練習曲のように弾いてはいけません。演奏においてはいつでも、音楽と解釈が最も重要です。

ショパニストの部門とはいえ、楽曲を明確に捉えたアプローチ、確かなテクニックに感心しました。伴奏もそれぞれに素晴らしく、一体となった演奏を楽しませていただきました。

- ・右手を大変メロディックに歌って弾いているので、左手ももっと絡んで寄り添い、ハーモニーを与えてほしいです。
- ・拍感を大切に。民族的な拍を感じて、アップとダウンを意識すると、曲がよりイキイキと立体感が増すと思います。

コロナ禍の中で、今年は映像審査になってしまいましたが、演奏動画を録画する作業は solo でも大変なことです。ましてやコンチェルトの部での作業はどれほど大変な事だったのでしょうか、頭が下がる思いです。伴奏者、2台ピアノのある会場の手配にご尽力頂いたお陰で、こうして聴かせて頂けております。ご家族、指導者の皆様、伴奏者の皆様に感謝申し上げます。アンサンブルの審査は楽しく、審査と言うより楽しく聴かせて頂きました。全体のレベルは高く、特にコンチェルト AA のレベルは高く、ショパニストコンチェルト A 部門もこれほどお弾きになるんだと頼もしく聴かせて頂きました。コンチェルト I は経験も少ないので未だ幼い所もあり、もう少しアンサンブルして欲しいと思うところもありましたが、こうしてアンサンブルを楽しまれることでさらに豊かな音楽を楽しまれることでしょうか。

良く弾けていますが、和声の進行をより感じ、バランスのある響を作ってほしいです。メロディーももっと多彩にしなやかに流れ良く、オケとの音楽との調和をとってもっともっとアピールしてほしいです。よりダイナミックな表現をめざしてほしいです。

- ・いろんなジャンルの曲があり、楽しく聞きました。
- ・伴奏者との音量のバランス、テンポ、フレーズ感が大事。
- ・ソリストのメロディラインや音色の響かせ方、音楽の流れや盛り上げ方をもっと伝えていただきたいです。
- ・コンチェルトは究極のアンサンブルなので多く方に挑戦して欲しいなと思います。
- ・技術的に安定している方ばかりでした。
- ・和声を意識して、響きに包まれながら粒を揃えることが出来る様に、手首の使い方やペダリングを工夫してください。
- ・拍子を大きくとらえてまとめると、同じテンポでも流れや躍動感が出てきます。